

平成 25 年 7 月 4 日

(一社)建設コンサルタント協会近畿支部
会 員 各 位

(一社)建設コンサルタント協会 近畿支部
技術部会 技術委員会
地域部会 大阪地域委員会

「平成 25 年度現場研修会」開催のお知らせ ～ アクアライナーから見た近代土木遺産の現場研修 in 大阪 ～

平成 19 年度より継続開催しております近代土木遺産研修会も、7 年目を迎えることとなりました。特に昨年度からは近畿支部の創立 50 周年を記念し、建設コンサルタントの取り組む事業が社会に貢献していることを広く理解して頂くため、支部会員のご家族にも参加して頂けることとなりました。今回の研修場所は大阪とし、アクアライナー（水上バス）を用いながら、水の都としてふさわしい橋梁群、毛馬閘門など先人が残した土木遺産から土木の重要性を学ぶとともに、私たちが将来に向けてどのような基盤土木施設を創出し残していくべきかを考え、社会資本整備の大切さをご家族にも理解頂ける良い機会になればと願っております。

業務ご多忙のところとは存じますが、是非ご家族お揃いで参加くださいますようご案内申し上げます。なお、本現場研修会は、「近畿支部地域部会 大阪地域委員会」の協力を得て開催いたします。

記

1. 主 催 : (一社)建設コンサルタント協会 近畿支部 技術部会 技術委員会
2. 開催日時 : **平成 25 年 8 月 8 日 (木)【雨天決行】**
3. 集合場所 : 京阪天満橋駅北側の水上バス乗り場前 (八軒家浜船着場前) (別添案内図参照)
4. 集合時間 : 9 時 0 0 分 (9 時 3 0 分アクアライナー出航に付き、時間厳守願います。なお、昼食は用意いたします。)
5. 研修場所 : 「大川・中之島橋梁群」, 「毛馬第一閘門・洗堰群」, 「旧堺港灯台」,
「大阪府狭山池博物館」 「大阪市下水道科学館」
6. 研修行程 : (別添行程表, ルート案内図参照)
7. 参加対象 : 建コン協近畿支部会員とその御家族様 (※ご家族様だけの参加は出来ません。)
8. 定 員 : 8 0 名
9. 参加費 : 2, 0 0 0 円 (支部会員のみ、当日徴収します。ご家族様は無料です。)
10. C P D : 建設コンサルタント協会 CPD プログラム登録行事 (申請中)
11. 申込期限 : 平成 25 年 7 月 24 日 (水)
12. 申込方法 : 別添申込書に必要事項を記入の上、建コン協 近畿支部事務局まで F A X 願います。
13. 注意事項 :
 - ・参加は、支部会員の同伴を原則とし、ご家族様だけの参加は出来ません。
 - ・参加費は、支部会員のみ徴収します。ご家族様に関する費用については協会にて負担します。
 - ・万一事故の場合、協会は金銭的責任を取りかねますので、業務上出張の方以外はお受けできません。なお同伴されるご家族の方につきましては、協会負担にて傷害保険に加入致します。
14. そ の 他 :
 - ・申込み書に記入頂いた Email 宛に参加証をメールにて送信します。当日は、印刷した参加証を研修会実行委員に示し受付を行ってください。

平成25年度 近代土木遺産研修会 in 大阪 行程表

研修日：平成25年8月8日(木)

※雨天決行

行 程			
目的地	予定時刻	所要時間	内 容
集合：京阪天満橋駅北側 水上バスのりば (八軒家浜船着場)	9 : 00		
	9 : 00 ~ 9 : 30	0 : 30	①参加受付、乗船
大川・中之島橋梁群 (水上バス:アクアライナー貸切)	9 : 30 ~ 10 : 30	1 : 00	②水上より、天神橋、難波橋階段、淀屋橋、 水晶橋、天満橋、桜宮橋(銀橋)等を見学 ※近代土木遺産の橋
	10 : 30 ~ 10 : 50	0 : 20	下船、バス移動 (天満橋⇒淀川河川事務所毛馬出張所)
毛馬第一閘門・洗堰群	10 : 50 ~ 11 : 20	0 : 30	③毛馬第一閘門・洗堰群を徒歩見学
	11 : 20 ~ 11 : 30	0 : 10	集合写真⇒徒歩移動:バス待機場
	11 : 30 ~ 12 : 10	0 : 40	バス移動
旧堺港灯台(大浜公園)	12 : 10 ~ 12 : 40	0 : 30	④旧堺港灯台を徒歩見学
	12 : 40 ~ 12 : 50	0 : 10	バス移動
昼食	12 : 50 ~ 13 : 30	0 : 40	⑤ホテルサンルート堺で昼食
	13 : 30 ~ 14 : 00	0 : 30	バス移動
大阪府狭山池博物館	14 : 00 ~ 15 : 00	1 : 00	⑥ボランティアガイド案内による館内見学
	15 : 00 ~ 15 : 40	0 : 40	バス移動
大阪市下水道科学館	15 : 40 ~ 16 : 40	1 : 00	⑦館内自由見学、体験学習
	16 : 40 ~ 16 : 50	0 : 10	⑧16:40集合、16:50解散
	16 : 50 ~ 17 : 10	0 : 20	JR大阪駅に行く人はバス移動
解散：JR大阪駅	17 : 10		

※お願いと留意事項

- ①：集合場所は、京阪天満橋駅北側の八軒家浜船着場です。
船の出発時間があるため、時間厳守でお願いします。
- ②：水上バスより、大川・中之島の橋梁群他をお楽しみ下さい。※乗船、下船とも八軒家浜船着場(天満橋)
トイレは船内にあります。船内への飲食物のお持ち込みは可能です。
- ③：屋外を2班に分かれて、案内ガイド(国交省)の方に説明頂きます。
- ③、④：屋外での見学のため、熱中症等にご注意ください。適宜水分補給願います。
- ⑤：昼食終了後は、13:25(出発5分前)にはバス駐車場に集合願います。
- ⑥：館内を20~30名で3~4班に分かれて、ボランティアガイドの説明により案内します。
- ⑦：各自、自由見学・自由行動でお楽しみ下さい。約10分のミニシアターも適宜ご体験下さい。
- ⑧：16:40までにバス駐車場に全員集合お願いします。※現地解散の方へ：最寄駅 阪神電車「淀川駅」徒歩7分

※全ての時間は予定時間であり、交通状況等により時間が前後すると思われる。
時間の変更はその都度お伝えいたします。

【集合場所案内図】（集合時間9:00）

集合場所は、京阪天満橋駅北側の八軒家浜船着場(マクドナルド北側付近)です。



【参考時刻表】（最新の時刻表を確認ください）

◆京阪(上り)

淀屋橋(発)	天満橋(着)	
8:46	8:51	普通・萱島行
8:50	8:53	特急・出町柳行
8:52	8:55	準急・出町柳行

◆京阪(下り)

枚方市(発)	京橋(発)	天満橋(着)	
8:21	8:46	8:49	準急・中之島行
8:24	8:49	8:52	準急・淀屋橋行
8:29	8:52	8:55	快速急行・中之島行

◆地下鉄谷町線(上り)

天王寺(発)	天満橋(着)	
8:41	8:50	都島行
8:44	8:53	大日行
8:46	8:55	都島行

◆地下鉄谷町線(下り)

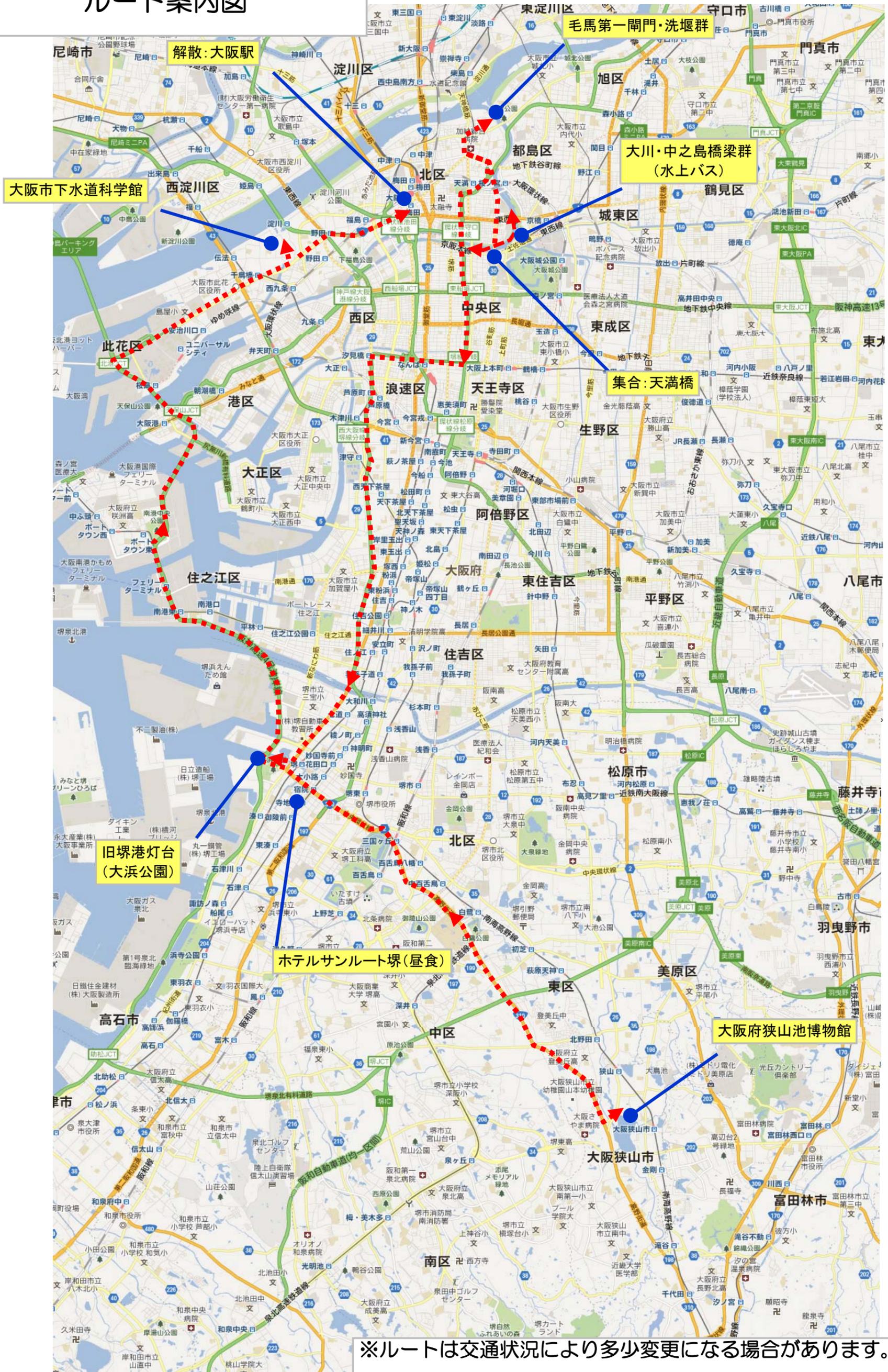
東梅田(発)	天満橋(着)	
8:44	8:49	文の里行
8:46	8:51	八尾南行
8:49	8:54	喜連瓜破行

※緊急連絡先：技術委員会研修会実行委員

小 笹：090-7752-7458

廣 瀬：090-5035-4051

ルート案内図



※ルートは交通状況により多少変更になる場合があります。

1. 大川・中之島橋梁群

大阪は、多くの川や堀が流れ、古くから「浪華八百八橋」と呼ばれるほど、多くの橋が架けられてきました。これらの橋は、大阪に暮らす人々の生活や街の発展を支える重要な役割を担い、水都大阪を語る上で、欠かせない存在となっています。

大川・中之島の橋梁群としては、第一次大阪都市計画事業によって、大川・中之島一带に架けられた特に重要な 5 橋（「桜宮橋」「天満橋」「天神橋」「大江橋」「淀屋橋」）が、2000 年（平成 12 年度）に土木学会の推奨土木遺産に選定されました。

【各橋の概要】

桜宮橋：昭和 5 年完成。通称「銀橋」。3 ヒンジアーチ橋で、完成時は日本最大。平成 18 年には、北隣に新桜宮橋が完成。※新桜宮橋は、建築家の安藤忠雄さんの設計

天満橋：昭和 10 年完成。3 径間ゲルバー鋼桁橋。新天満橋と上下二段になり「天満重ね橋」とも呼ばれる。

天神橋：昭和 9 年完成。3 連の軽快な鋼 2 ヒンジアーチ橋。

大江橋：昭和 10 年完成。4 径間 RC 充腹式アーチ橋。重要文化財に指定。

淀屋橋：昭和 10 年完成。3 径間 RC 充腹式アーチ橋。重要文化財に指定。



難波橋



天満橋

【その他、水上バスより見学できる土木遺産の橋】

難波橋（階段部）：大正 4 年完成。昭和 50 年に鋼アーチから鋼桁に架替え。通称「ライオン橋」。

水晶橋：優美なコンクリートアーチ橋。

【豆知識】

- ・「難波橋」、「天神橋」、「天満橋」は、なにわ三大橋。
- ・大阪市民の好きな橋の第一位（アンケート調査）は難波橋。水晶橋：3 位、淀屋橋：5 位。
- ・大江橋と淀屋橋は、1924 年（大正 13 年）に土木の分野では珍しい、デザインの懸賞募集が行われました。

橋はその昔、わたるものだけではなく、くぐるものでもありました。戦後のある時期まで、大阪の物流の主役は水運でありました。橋の下を多くの人・物・船が行き来するにあたり、下からの景観も考慮して設計されたかもしれません。水上バスからは、普段見ることができない橋の下からの眺望もお楽しみ下さい。



2. 毛馬第一閘門・洗堰群

淀川は、大規模な洪水が頻繁におき、流域の人々に甚大な被害を及ぼしてきました。そのため明治政府は、明治 29 年（1896 年）より大改修工事を開始しました。毛馬水門は、その改修工事の際に計画され、明治 40 年（1907 年）8 月に最初の設備として、普段の川の水を流すための「毛馬洗堰」と船舶通過のために水位を調整する「毛馬閘門」が完成しました。その後、大川の浚渫工事で大川の水位が大幅に下がり、新淀川との水位差が広がり、閘門が対応できなくなったため、下流側に第二閘門が大正 7 年（1918 年）に設置されました。

昭和 49 年（1974 年）に現在の閘門が完成し、第一閘門、第二閘門は昭和 51 年（1976 年）にその本来の役目を終え、現在第一閘門は河川公園の一部の施設として、第二閘門は船溜まりとして使用されています。

■毛馬第一閘門

毛馬第一閘門は、内務省土木監督署の技師沖野忠雄の指導による、淀川治水計画の一環として造られた（明治 40 年竣工）ものです。兩岸がレンガ造りとなっており、水路前後に鉄製観音開きの制水扉が設置され、兩岸からハンドルを回して開閉されました。

現在は使用されておらず、貴重な土木遺産として、淀川河川公園の一部の施設として整備保存されています。2007 年（平成 19 年）に土木学会の推奨土木遺産に選定され、2008 年（平成 20 年）6 月に洗堰と共に、国の重要文化財に指定されました。

○形式：レンガ造及びコンクリート構造物、鋼合掌戸

○規模：全長 105.8m 閘室長 75.38m 閘室幅 11.35m



■洗堰群

毛馬洗堰は、旧淀川（大川）に流れ込む水量を調節するために造られた（明治 43 年）ものです。9 本の堰柱と両側の橋台からなり、10 個の水通しをもっていました。北側の 2/3 が新洗堰の工事の時に撤去されました。2007 年（平成



19年)に土木学会の推奨土木遺産に選定され、2008年(平成20年)6月に第一閘門と共に、国の重要文化財に指定されました。

○形式：レンガ造及びコンクリート構造物、石張水切

○規模：全長53.30m/10門(うち現在は3門が残存)

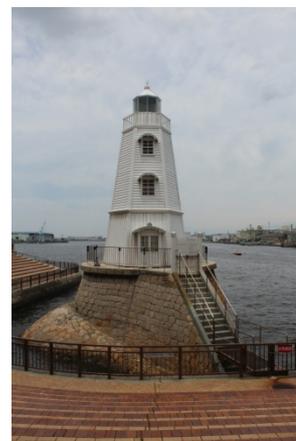
※第一閘門、洗堰群の周辺には、明治43年の淀川改修工事完了を記念して建てられた「淀川改修紀功碑」、江戸時代に大阪城再建するときに、伏見城から運ばれた石垣の石がその途中で運搬船から転落し、淀川改修工事の際引き上げられた「毛馬の残念石」等、公園内には見どころが多くあります。

3. 旧堺港灯台

堺市の大浜公園のすぐ近くにある旧堺港灯台は、現存する最古の木製洋式灯台の一つであります。明治時代初期、堺港の改修事業に伴い、新しい灯台の設置の必要性が高まり、イギリス人技師の指導のもと設計築造されました。当初の光源は石油ランプを使い、約18km先まで灯台の光が届いたとされています。

○形式：木製洋式六角錐形灯台 高さ：11.3m

1877年(明治10年)に完成し、約1世紀にわたり港に出入りする船の安全を守ってきましたが、臨海工業地区の埋め立て等により役目を果たせなくなり、1968年(昭和43年)に幕を閉じました。建物の老朽化により、平成13年～18年度に保存修理工事が行われ、当時の姿が蘇っています。 ※1972年(昭和47年)に国の史跡に指定。



現在は、堺市のシンボルとの一つとされ、市内各所でモチーフとして使用されています。(公衆電話ボックス、時計台、マンホール等)

4. 大阪府狭山池博物館

大阪府狭山市にある大阪府狭山池博物館は、大阪府が管理運営を行っており、各種講演会やイベントの開催地、生涯学習の場として、大阪府中南部エリアの拠点文化施設となっています。建物は、建築家の安藤忠雄さんにより設計され、1400年の歴史を刻む日本最古のダム式ため池である狭山池と一体化した、親水空間を有する土地開発史専門の博物館であります。土木遺産の保存と公開を目的として、2001年(平成13年)に開館しました。

狭山池の改修には、奈良時代の行基、鎌倉時代の重源、江戸時代の片桐且元などの歴史上有名な人物が携わってきました。1400年前の歴史が重なる堤、水を取り出す樋、堤の滑りを防ぐ木製枠工などの土木遺産には、各時代の知恵と工夫が活かされてきました。

常設展示室では、時代順に7つのゾーンに分け、水と大地との関係性を、狭山池と出土文化財を中心にわかりやすく展示しています。

○常設展示室

- ・第1ゾーン：狭山池への招待
- ・第2ゾーン：狭山池の誕生
- ・第3ゾーン：古代の土地開発と狭山池
- ・第4ゾーン：中世の土地開発と狭山池

- ・第5ゾーン : 近世の土地開発と狭山池
- ・第6ゾーン : 明治・大正・昭和の改修
- ・第7ゾーン : 平成の改修
- ・第8ゾーン : どぼくランド



5. 大阪市下水道科学館

大阪市此花区にある大阪市下水道科学館は、1995年（平成7年）に大阪市の近代下水道事業着手100年を記念して建設されました。建物は地下1階～6階まであり、各展示物を楽しみながら、下水道のしくみとはたらき、大阪市の下水道の特徴を学ぶことができます、参加体験型の施設であります。

○フロアガイド

- ・6階 : 【水と生命】フロア
下水処理水を使った「水耕栽培」「せせらぎ」
- ・5階 : 【水のふしぎ】フロア
「水の科学」「水のシアター」「多目的フロア」
- ・4階 : 【大阪市の下水道】フロア
「下水処理のしくみ」「大雨に備える」「豪雨を体験しよう」など
- ・3階 : 【都市と下水道・舞洲スラッジセンター】フロア
「都市環境と下水道」「舞洲スラッジセンター」
- ・1階 : 【ふれあい水槽、水の情報コーナー】フロア
「ふれあい水槽」「水の情報コーナー」など
- ・地下1階 : 【地下探検】フロア
「地下の川」「マジックシアター」「地下探検号」



FAX 送信状は不要です

FAX 06-6945-5892

(一社)建設コンサルタンツ協会 近畿支部

「平成 25 年度 近代土木遺産研修会 in 大阪」参加申込書

日 時 : 平成 25 年 8 月 8 日 (木)
集合場所 : 京阪天満橋駅北側の水上バス乗り場前 (八軒家浜船着場前)
集合時間 : 9 時 00 分
研修場所 : 「大川・中之島橋梁群」, 「毛馬第一閘門・洗堰群」, 「旧堺港灯台」,
「大阪府狭山池博物館」, 「大阪市下水道科学館」
申込期限 : 平成 25 年 7 月 24 日 (水)

支部会員

会社名	
所属	
TEL/FAX	
E-mail	(参加証送信用)
氏名(フリガナ)	
携帯電話	(当日緊急連絡用)

同伴者 (1)

氏名(フリガナ)	
生年月日	
性別	

同伴者 (3)

氏名(フリガナ)	
生年月日	
性別	

同伴者 (2)

氏名(フリガナ)	
生年月日	
性別	

同伴者 (4)

氏名(フリガナ)	
生年月日	
性別	

※同伴者は傷害保険に加入するため、氏名(フリガナ)、生年月日、性別が必要となります。